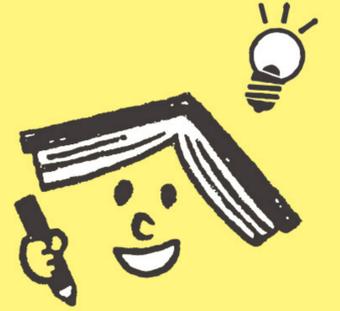




# 読書感想文

# Q & A

「読書感想文をどうやって書いたらいいかわからない」  
「どんな本を読んだらいいかわからない」  
そんな声にお答えします。  
さあ、読書感想文にチャレンジしよう！



イメージキャラクター おほんちゃん

**Q** なぜ、本を読むことが大切なのか。

**A** 一冊の本が、人生を変えてしまうことがあります。本の中で旅をしたり恋をしたり、冒険をしたり……。人は本の中でいろいろなことを体験できます。登場人物と自分の生き方や考え方を比べて、共感したり反発したりします。また、本を使って、疑問に思ったことを解決するために調べることもできます。本を読んで新しいことを知ると、びっくりしたりうれしくなったりします。本は、人の心を成長させてくれ、いろいろなことを教えてくれる友だちです。

**Q** 読書感想文は、何のために書くのですか。

**A** 書くことによって考えを深められるからです。読書感想文を書くことを通して思考の世界へ導かれ、著者が言いたかったことに思いをめぐらせたり、わからなかったことを解決したりできるのです。ですから読書感想文は「考える読書」ともいわれます。また、どんなに強く心を動かされても、時間がたてばその記憶は薄れてしまいます。読書感想文は自分自身の記録です。読み返すことによって、いつでも「感動した自分」に出会うことができるのです。

**Q** 「課題読書」・「自由読書」って何ですか。

**A** 読書感想文コンクールの主催者が指定した本を読んで書くのが「課題読書」です。本の専門家の先生方が、新しく出版されたたくさんの本の中から、年齢に合わせて、多くの感動を得られたり新たな知識を得られたりする本を、フィクション、ノンフィクション、外国作品など幅広く選んだものです。ぜひ読んでみてください。一方、自分で読みたい本を自由に選んで読書感想文を書くのが「自由読書」です。フィクションでもノンフィクションでもかまいません。読書感想文は「読書の幅」を広げるチャンスです。ふだん物語や小説をよく読む人は科学の本にチャレンジしたり、スポーツの本をよく読む人は伝記を読んだりしてみてください。

**Q** 何をどう書けばいいかわかりません。どうすればいいですか。

**A** 本を読んで自分がどこに感動したのか、なぜ感動したのかを考えましょう。そしてもう一度本を読んでみましょう。自分の生き方や経験と本の世界とを照らし合わせると、いろいろなことが見えてきます。感じたこと、思ったこと、連想したことなどを忘れないうちに全部メモしておきましょう。そうしたら、順番を入れ替えたり内容を補ったりして、どう書けば自分の心の動きにぴったりするか、それがうまく人に伝わるかを考えましょう。先生や家の人と相談してみるのもいいでしょう。そうするうちに何をどう書けばいいのか、自分が一番言いたいことは何なのかははっきりしてきます。書き終わった時には、それまでとはどこか少し違った自分になっていることに気づくはずですよ。

**Q** どんな本を読んだらいいのかわかりません。教えてください。

**A** 思いっきり楽しめたり、自分を見つめなおしたり、新しいことを教えられたり……。自分の心を突き動かしてくれる本が、その人にとっての「良い本」だといえます。自分に合った、心を動かされる本を探してみましょう。迷ったら、自分のことをよく知っている人、たとえば家族や担任の先生、教科の先生、部活の顧問の先生に相談してみましょう。「本の専門家」の図書館の先生に相談してもいいでしょう。友だちと紹介し合うのもいいですね。

**Q** 題名はどうつけたらいいですか。

**A** 本を選ぶとき、本の題名を見ながら「おもしろいかなあ？」とか「読んでみようかなあ？」と考えることはありませんか。題名一つ見ただけで「読んでみたい」とか「読みたくない」とか思ってしまいます。魅力的な題名は人をひきつける力があります。せっかく書いた読書感想文ですから、人が読んでみたくなるような題名を考えましょう。自分が一番感動したことやもっとも言いたいことの、中心となることばを考えて題名にするといいでしょう。

**Q** 読んだ本の本文や解説などを引用してもいいですか。

**A** 読書感想文は、本を読んだ自分の思いや心の動きを中心に書くものですから、できるだけ自分のことばを使って書くようにしましょう。確かに解説やあとがきなどは、本の世界をより深く理解するために参考になることがあります。ですから、場合によっては引用する必要が出てくるかもしれません。そのときは、どうしても必要な部分だけを引用することにして、必ず「」（カギかっこ）でくくりましょう。

**Q** 字数は規定の字数以内なら何字でもいいですか。

**A** 本を読んだ感動や本を読んで考えたことを、人に伝えるように十分に書き表すためには、ある程度のことばの量が必要です。心の中にあふれる思いを、たくさんのことばを使って表現してみましょう。字数の規定はいわばことばで表現できるグラウンドの広さです。せっかく広いグラウンドが用意されているのに、それを自分で狭くする必要はありません。規定の字数をなるべくいっぱい使って、思いっきり読書の感動を表現してみましょう。

# 第66回 青少年読書感想文全国コンクール 課題図書

## 低小 小学校 の部 1・2 年生



**山のちょうじょうの木でっぺん**  
最上一平 作  
有田奈央 絵  
本体 1,300円  
ISBN978-4-406-06374-6  
〈新日本出版社〉



**おれ、よびだしになる**  
中川ひろたか 文  
石川えりこ 絵  
本体 1,400円  
ISBN978-4-7520-0908-5  
〈アリス館〉



**タヌキのきょうしつ**  
山下明生 作  
長谷川義史 絵  
本体 1,100円  
ISBN978-4-251-00553-3  
〈あかね書房〉



**ながーい5ふん みじかい5ふん**  
リズ・ガートン・スキャンロン 文  
オードリー・ヴァーニック 文  
オリヴィエ・タレック 絵  
木坂涼 訳  
本体 1,400円  
ISBN978-4-89572-246-9  
〈光村教育図書〉

## 中 小学校 の部 3・4 年生



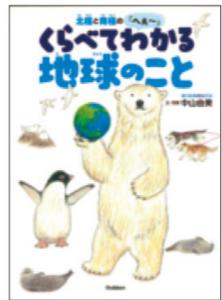
**青いあいつがやってきた!?**  
松井ラフ 作  
大野八生 絵  
本体 1,300円  
ISBN978-4-580-82387-7  
〈文研出版〉



**ねこと王さま**  
ニック・シャラット 作・絵  
市田泉 訳  
本体 1,600円  
ISBN978-4-19-865003-2  
〈徳間書店〉



**ポリぶくろ、1まい、すてた**  
ミランダ・ポール 文  
エリザベス・ズーノン 絵  
藤田千枝 訳  
本体 1,500円  
ISBN978-4-378-04147-6  
〈さ・え・ら書房〉



**北極と南極の「へえ〜」くらべてわかる地球のこと**  
中山由美 文・写真  
本体 1,400円  
ISBN978-4-05-204698-8  
〈学研プラス〉

## 高小 小学校 の部 5・6 年生



**ヒロシマ消えたかぞく**  
指田和 著  
鈴木六郎 写真  
本体 1,650円  
ISBN978-4-591-16313-9  
〈ポプラ社〉



**月と珊瑚**  
上條さなえ 著  
本体 1,400円  
ISBN978-4-06-516222-4  
〈講談社〉



**飛ぶための百歩**  
ジュゼッペ・フェスタ 作  
杉本あり 訳  
本体 1,400円  
ISBN978-4-265-86029-6  
〈岩崎書店〉



**風を切って走りたい!  
:夢をかなえるバリアフリー自転車**  
高橋うらら 著  
本体 1,400円  
ISBN978-4-323-06096-5  
〈金の星社〉

## 中 学校の部



**天使のにもつ**  
いとうみく 作  
丹下京子 絵  
本体 1,300円  
ISBN978-4-494-02055-3  
〈童心社〉



**11番目の取引**  
アリッサ・ホリングスワース 作  
もりうちすみこ 訳  
本体 1,600円  
ISBN978-4-7902-3356-5  
〈鈴木出版〉



**平和のバトン  
:広島の高校生たちが描いた8月6日の記憶**  
弓狩匡純 著  
本体 1,500円  
ISBN978-4-7743-2777-8  
〈くもん出版〉

## 高 等 学 校 の 部



**廉太郎ノオト**  
谷津矢車 著  
本体 1,750円  
ISBN978-4-12-005231-6  
〈中央公論新社〉



**フラミンゴボーイ**  
マイケル・モーパール 作  
杉田七重 訳  
本体 1,500円  
ISBN978-4-09-290627-3  
〈小学館〉



**キャパとゲルダ  
:ふたりの戦場カメラマン**  
マーク・アロンソン 著  
マリナ・ブドーズ 著  
原田勝 訳  
本体 1,800円  
ISBN978-4-7515-2941-6  
〈あすなる書房〉

# 第66回青少年読書感想文全国コンクール応募要項(抜粋)



## 対象図書

### ○課題読書

主催者の指定した図書（課題図書）。  
同一部内における学年指定はありません。

### ○自由読書

自由に選んだ図書。フィクション、ノンフィクションを問いません。

\*教科書、副読本、読書会用テキスト類またはこれに準ずるもの、雑誌（別冊付録を含む）、パンフレット類、日本語以外で書かれた図書および課題図書は対象としません。ただし、課題図書であっても該当の部以外であれば、自由読書として応募することができます。

\*点訳・音訳を利用した読書の場合は、その理由および原本、点訳・音訳したものの情報を添えてご応募ください。



## 応募資格及び区分

応募者の年齢は満20歳まで（2000年4月2日以降に出生の者）とします。

応募者の在籍する校種等によって、応募を次の5部10区分とします。

- ①小学校低学年の部（1、2年生）……………課題読書・自由読書
- ②小学校中学年の部（3、4年生）……………課題読書・自由読書
- ③小学校高学年の部（5、6年生）……………課題読書・自由読書
- ④中学校の部……………課題読書・自由読書
- ⑤高等学校の部……………課題読書・自由読書

\*特別支援学校はそれぞれの対応する部に、中等教育学校および中高一貫校の「前期課程」は中学校の部に、「後期課程」は高等学校の部に、義務教育学校はそれぞれの学年に対応する小学校の各部および中学校の部に応募してください。



## 用紙・字数

①原稿用紙を使用し、縦書きで自筆してください。原稿用紙の大きさ、字詰めに規定はありません。

②文字数については下記のとおりです。

- 小学校低学年の部（1、2年生）……………本文 800字以内
- 小学校中学年の部（3、4年生）……………本文 1,200字以内
- 小学校高学年の部（5、6年生）……………本文 1,200字以内
- 中学校の部……………本文 2,000字以内
- 高等学校の部……………本文 2,000字以内

③句読点はそれぞれ1字に数えます。改行のための空白か所は字数として数えます。

④題名、学校名、氏名は字数に数えません。



## 応募作品

①応募は日本語で書かれた作品に限ります。

②応募は課題読書、自由読書それぞれに一人1編ずつ応募できます。

③応募は個人のオリジナルで未発表の作品に限ります。他の類似コンクールとの二重応募は認めません。

④入賞・入選作品は理由を問わず返却しません。



## 応募締め切り

締め切りは都道府県により異なります。詳細は在籍校の図書館の先生または、青少年読書感想文全国コンクール Web サイトに掲載の【問い合わせ先】にお問い合わせください。



## 入賞・入選作品の著作権と氏名等の使用・公表について

入賞・入選作品の著作権は、選出と同時に主催者に譲渡されます。ただし、本人および在籍校の利用は妨げません。

入賞・入選された方の作品・題名・対象図書名、および氏名・学校名・学年は主催者の刊行物や Web サイトで公表します。

また、テレビ、ラジオ、雑誌、書籍、教材等各種媒体で使用・公表することがあります。



## 作品提出

**児童生徒は必ず在籍校を通じて提出してください。児童生徒の直接個人応募は受け付けておりません。**

※詳しい要項は青少年読書感想文全国コンクール Web サイトをご覧ください。

Web アドレス <https://www.dokusyokansoubun.jp>